新宿御苑の紅葉・黄葉

園内は赤や黄色に色づくさまざまな樹木があります。樹木や場所によって色づく時期が異なり、長い期間、秋の彩りを楽しめます。紅葉を楽しめるおすすめの樹木とエリアをみごろ時期とともにご紹介します。

●11月中旬からみごろ●

プラタナス並木（整形式庭園）



正門（封鎖）側から順番に黄葉してゆきます。早めに撮りたい方は正門（封鎖）側へどうぞ。

タムケヤマ（玉藻池近く）
園路を挟んで2本のタムケヤマが植栽されています。繊細な葉が光の中で輝きます。



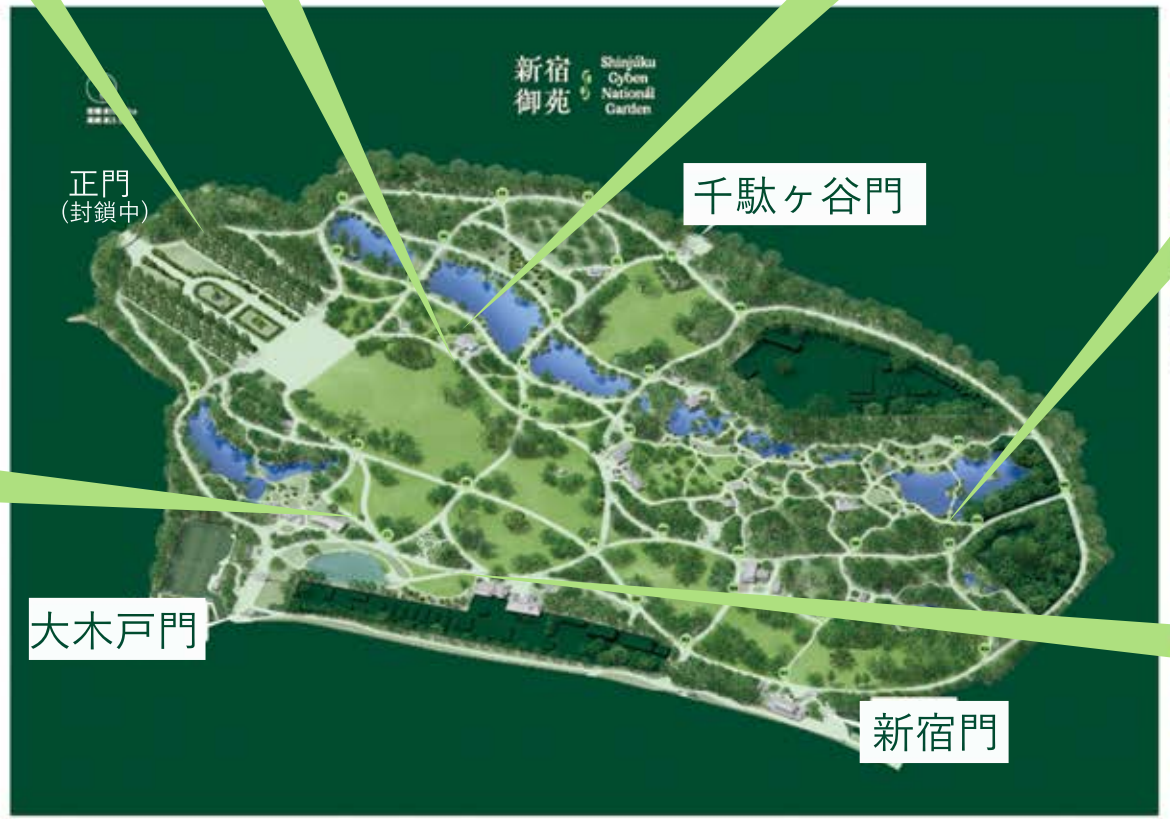


ケヤキ（スターバックス前）
紅茶色に色づく大木。スターバックス近くにはケヤキが数本あります。桜と共に園内を秋色に染めてゆきます。



タムケヤマ（中の池）
タムケヤマは木の下に入り込んで動きのある枝と葉を撮るのがおすすめです。





おすすめ

紅葉の撮影のコツ

紅葉は逆光で撮るのがおすすめです。紅葉を見つけたら、その周りを歩き回り光が挿すアングルを探してみてください。葉が光を透かすことで、紅葉の色がより鮮やかに輝きます。

カエデ（日本庭園）
上の池の縁に植栽されているカエデです。広い園内で、比較的早めに色づき始めます。外周側から撮るのがおすすめ。



ユリノキ（温室前）



新宿御苑のシンボルツリー3本ユリノキと並んで人気のユリノキです。すぐ横にはイチョウがあり、黄葉のバトンが渡るかのように長い期間、楽しめるエリアです。

●11月下旬からみごろ●

メタセコイア（下の池）



擬木橋周辺から見上げると木々の隙間からメタセコイアの樹冠を見ることが出来ます。



カエデ（中の池）
中の池にカエデの紅葉が写ります。橋の上から島を眺めると赤いトンネルが出来ています。

ラクウショウ（母と子の森）
漢字で書くと落羽松。まさに羽のような葉が紅茶色に染まります。気根の周りに紅茶色の落ち葉が積もる様子もおすすめです。

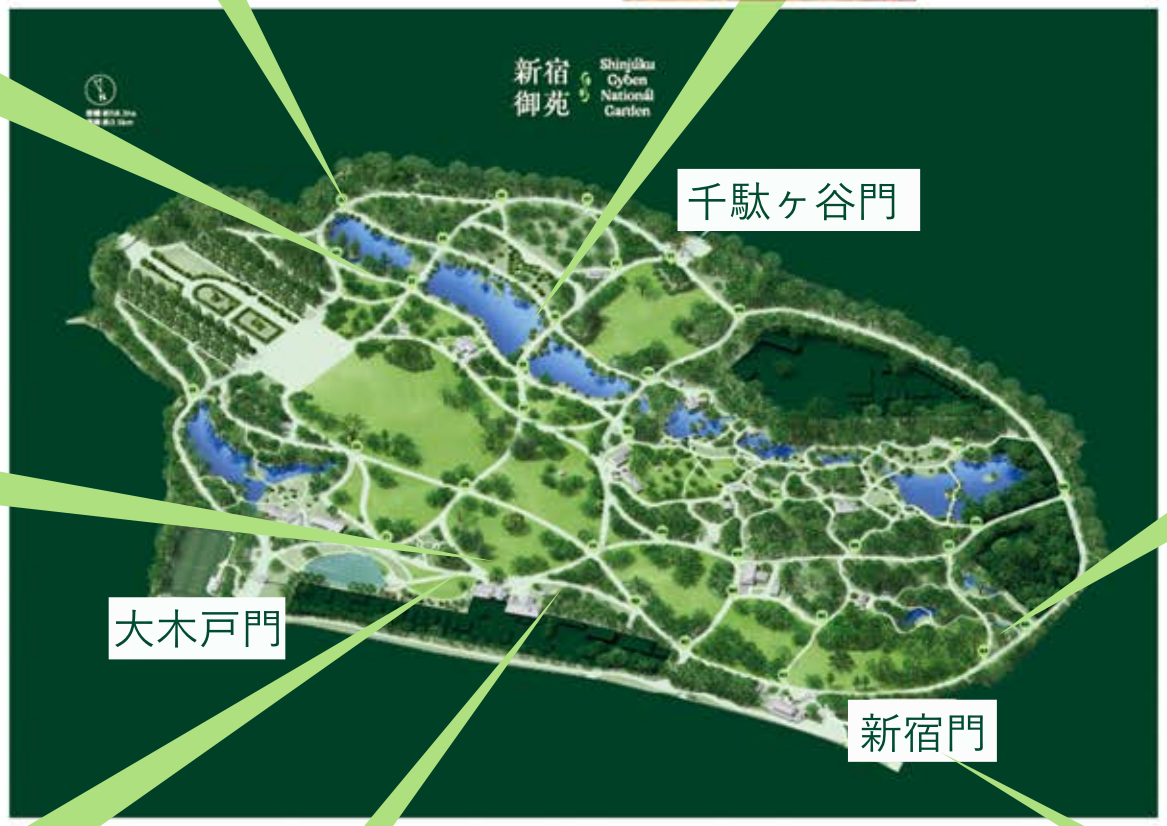






ポプラ（下の池）
奥に植栽されているメタセコイアと色の共演が美しいです。





メタセコイア（温室前）



メタセコイアは温室前以外に母と子の森、3本ゆりのき横、こども広場、下の池にあります。紅茶色に染まった円錐形は遠くから見ても魅力的です。

イチョウとカエデ（新宿門）



イチョウとカエデのコラボレーションが楽しめるポイントです。鮮やかな赤と黄色をお楽しみください。

イチョウ（温室前）
このイチョウの黄葉を楽しみにしている方が多い人気の撮影スポットです。黄金色のじゅうたんも楽しめます。





ハナノキ（管理事務所近く）
赤・オレンジ・黄色とカラフルな紅葉が魅力です。落ち葉を撮るのもおすすめです。



●12月上旬からみごろ●

カエデとメタセコイア（下の池島）
メタセコイアの落ち葉で染まった地面とカエデの紅葉が美しい景色を作ります。



フウ（整形式庭園）
プラタナス並木の黄葉が落ちた頃に順番を待っていたかのように色づきます。大木全体が暖かい色に染まります。



カエデ（玉藻池近く）



目立たない場所にあるカエデですが、毎年きれいに染まります。

カエデ（モミジ山）
大きく育ったカエデが黄、オレンジ、赤に染まり山全体が燃えるように美しくなります。新宿御苑の紅葉のフィナーレを飾るエリアです。



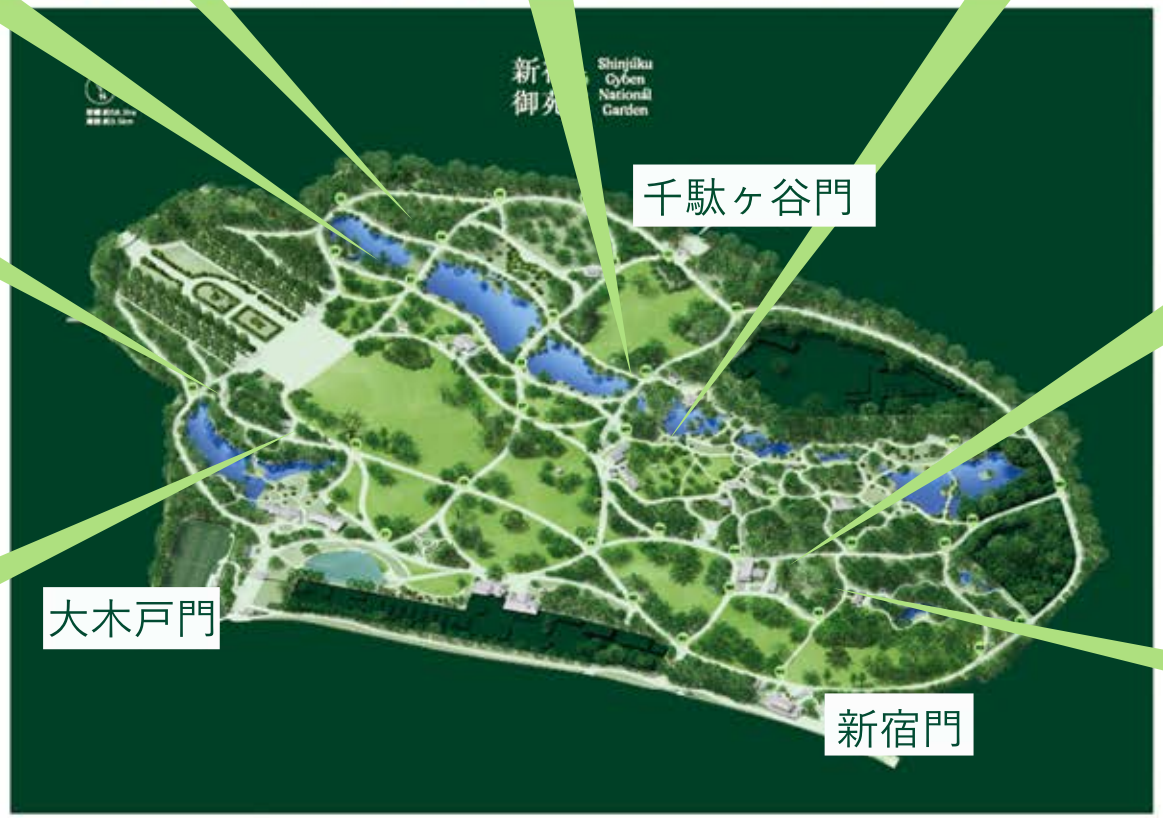
カエデ（こども広場）
まっすぐに大きく育ったカエデが色づくエリアです。少し離れた場所からも綺麗な色合いが目立ちます。



カエデ（日本庭園）
日本庭園にはたくさんのカエデが植栽されています。菊花壇展期間中から12月中旬にかけて木によって順番にみごろになり長く紅葉を楽しめます。







カエデとイチョウ
（サービスセンター近く）
日本庭園とくさはら広場の間の園路はイチョウの大木の黄葉が12月まで続きます。イチョウとカエデのコラボレーションが最後まで見られるエリアです。



カエデ（森の家近く）
森の家前の園路沿いはカエデが色とりどりに染まり見ごたえがあります。



●新宿御苑フォトコンテスト入賞作品●

2016 環境大臣賞



（日本庭園）

2017入選作品



（プラタナス並木）

2017入選作品



（日本庭園）

2017入選作品



（プラタナス並木）

2017 特選作品



（日本庭園）

2019入選作品



（プラタナス並木）

2014入選作品



（下の池）

2023入選作品



（新宿門近く）